

令和3年4月28日

中国学園学生諸君へ一当面の生活様式と本学の教育形態について

学長 千葉喬三

マスコミ等で報じられているように、新型コロナウイルス感染の急拡大をうけて、政府は東京大阪、京都、兵庫の4都府県に3回目の「緊急事態宣言」を発令しました。他にも「まんえん防止等重点措置」適用地域、さらに、指定地域外でも感染は急速に進行しています。このような状況下、暦の上では大型連休を迎えようとしています。この時期、諸君には、今一度感染防止について意識を一新して生活されることを願っています。

昨年も、何度か同様のメッセージを送りましたが、今年はかなり状況が違います(悪くなっています)。その最たるものは、ウイルスの変異です。ウイルスの変異は想定されたことですが、想定以上に急速化し、且つ悪質化しているようです。もはや殆どが変異株に置き換わっていることと思います。変異株は若者も見逃してくれません。今ひとつの厳しい状況は、日本政府が、ワクチンの製造支援していないことと、それに代わるべき有効な確保(購入)手段を立てていないという、信じ難い失策を続けていることです。

ウイルスは自身では決して移動できません。移動(伝播)介助をするのはあくまでも人間です。このことを理解して、学生諸君には、この連休期間を含め、以下の感染防止を厳守されるようお願いいたします。

- ・移動(自宅からの外出も含め)極力避ける。とくに、関東・関西には絶対行かない(帰省も自粛)。
- ・自宅以外では常にマスクを着用する。ワクチンに代わる次善の防護手段はマスク(+消毒)しかありません
- ・飲食のある無しを問わず、集まらない。コンパの類いは行わない。イベント・カラオケ等にも決して行かない。
- ・ウイルスは不可視で、人が運んでいることを忘れないように。

不自由ですが、コロナ感染は、自分の身体を蝕むだけでなく、自分の家族や所属する集団・社会の崩壊にも繋がることを忘れてはなりません。我慢しましょう。

連休明け(今後)の授業形態については、基本的には国・地域の感染状況や政府からの通達等を精査して決めたいと考えています。状況がより悪化すれば、安全確保のため、リモート授業に切り替えねばなりません。リモートに切り替える際は、当然事前にお知らせし、原則一週間の準備期間を経て切り替えることを考えています。

以上